

QOL

Quality Of Life

QOL
サポーター
新潟

vol. **64**

新入生のみなさんへ
学長メッセージ

頑張る学生を紹介！
キャンパスニュース

特集1

2026年4月開設！

健康データサイエンス学科 紹介！

特集2

縁の下の力持ち

NUHWの学生支援を紹介！

特集3

先生に教えてもらおう

くらしサイエンス

Message

3 学長メッセージ

4-5 **2026年4月開設!**
健康データサイエンス学科 紹介!

News

6-7 **縁の下の力持ち**
NUHWの学生支援を紹介!

8-9 **先生に教えてもらおう**
くらしサイエンス

10-11 **頑張る学生をご紹介します!**
キャンパスニュース

Topics

裏表紙 **SNSで大学の情報を発信中!**
ぜひフォローしてね♪

※本誌に記載のある学年は、2026年1月時点のものです。



新入生へのメッセージ

優れたQOLサポーターを
目指しましょう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを新潟医療福祉大学に迎えることができ、教職員一同大変嬉しく思います。保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

学長 西澤 正豊

PROFILE

【専門】臨床神経学・神経科学
【学位】博士(医学)/東京大学医学部卒業
【所属等】名誉会員(日本神経学会・内科学会・神経免疫学会・小脳学会)、功労会員(神経化学会・神経感染症学会・神経治療学会)、代議員(認知症学会)、新潟市難病対策地域協議会会長、新潟県難病医療連絡協議会会長、NPO新潟難病医療ネットワーク理事長、Active Corresponding Member of American Academy of Neurology



QOLは「Quality of Life」の略語が、Lifeには生活だけでなく、人生や生命という意味もあります。「優れたQOLサポーター」とは、クライアントに寄り添いながら、一人ひとりのQOLを高める方策とともに考え、課題解決に向けて多職種専門職と連携・協働できる専門職を指します。近年、医療・福祉分野では公的病院の経営課題など、将来に不安を感じさせるニュースが少なくありません。しかし、その背景には、地域の医療体制が時代とともに変化しているという側面もあります。人口の減少に伴い、病院での外来診療・入院診療の規模は今後縮小する一方ですが、在宅診療・訪問診療の重要性はますます高まります。医師が拠点施設に集約される中、地域の現場で住民

の健康を維持する役割は、保健師、療法士、管理栄養士、社会福祉士などで構成される多職種の専門職チームが担うこととなります。さらに医療分野では、生成AIの活用が一層進み、業務の高度化と効率化が加速します。生成AIを駆使し、多職種の専門職と連携・協働できるQOLサポーターは、これからの社会においてますます欠かせない専門職となります。

本学は、保健・医療・福祉・スポーツに関わる16学科がすべて一つのキャンパスの中で、ワンチームとして行動していますので、他の分野との連携を学ぶ上で、唯一無二の最適な環境にあります。他の専門職を目指す仲間と一つのキャンパスで学ぶことで交流が生まれ、他職種に対する理解を深めることができます。5つの「STEPS」を身につけ、社会が必要とする人材を目指せば、将来への心配は無用です。

「誰かの役に立ちたい」という気持ちをもって、本学に入学してきた皆さんには、そのために必要なパワーを身につけてもらいます。本学では在学中に修得すべき5つの能力を「STEPS」と定義しています。第1のSは「科学的知識と技能を学び続ける力(Science & Art)」、次のTは「チームワークとリーダーシップを発揮する力(Teamwork & Leadership)」、次のEは「対象者を支援する力(Empowerment)」、次のDは「問題を解決する力(Problem-solving)」、最後のSは「自己実現を達成する力(Self-actualization)」の5つの単語の頭文字が「STEPS」です。在学中も卒業後も、この「STEPS」を意識して学び続けましょう。

本学が目標とする「優れたQOLサポーター」となるために、もう一つ大切なことがあります。それは、クライアントに「共感する力」を磨くことです。英語ではempathyといいますが、相手のことを気遣う力、慮る力という意味です。平安時代

から受け継がれてきた仏教の用語である「利他の心」と言い換えることもできます。これと似た単語に「sympathy」がありますが、こちらは相手のことをかわいそうだと思う感情です。日本語ではこれを「同情」と訳していることが多いですが、同情は自分の立場から相手の言葉を聞いた言葉なので、時に上から目線になりがちです。一方、共感相手の立場になって初めて生まれる感情です。「優れたQOLサポーター」になるために、皆さんに身につけてほしいのは、言うまでもなく共感できる力であり、「利他の心」です。

皆さんの大学生活が爽り多いものとなるよう、われわれ教職員は皆さんを徹底的にサポートします。新潟医療福祉大学で「優れたQOLサポーター」を目指しましょう。

新潟医療福祉大学“ならでは”の特色紹介

特色 01

データを“学ぶだけ”で終わらせず、
“社会で使える力”へと
つなげていく学び!!

データサイエンティストに求められる力を身につけながら、自分の興味や希望進路に合わせて、実践力を身につける!

整理

データを「整える」力

分析

データから「読み解く」力

実践

データで「動かす」力

特色 02

文理不問、特別な知識やスキルは必要なし!

全国平均を大きく上回る国試合格率や、退学率の低さを誇る本学の手厚い学修支援で安心の環境!!

専門職の資格取得を目指す学科が集う本学では、資格支援をはじめ、サポート体制が充実!安心の実績!!

プログラミング初心者向け
導入授業あり

少人数制・きめ細かな
学修支援体制で個別フォロー

本学ならではの“人を支える心”
を重視した教育

取得可能な資格(予定)

- 基本情報技術者試験
- 情報セキュリティマネジメント試験
- ITパスポート
- データサイエンティスト検定リテラシーレベル
- G検定(ジェネラリスト検定)

特色 03

3つの“新”が詰まった学科!

2026年4月に“新”設する当学科は、“新”しい施設設備で最先端・最“新”の学びを提供!!

新しい大学生活を、“新”しい環境でスタートしよう!

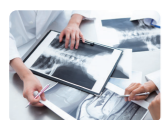


健康データサイエンス学科フロア (IA棟4F)

※掲載の完成予想図(パース)はイメージです。実際の建物とは異なる場合があります。予めご了承ください。

卒業後の活躍の場

「データサイエンスの知識・技術」×「保健・医療・福祉・スポーツの幅広い学び」によって、あらゆるフィールドで人々の「健康」を支えるQOLサポーターを育成



● 医療

レントゲン画像や電子カルテなどの蓄積された膨大なデータを高速かつ正確に分析し、病気の兆候を見逃すことなく早期発見などに役立ちます。



● 美容

幅広い世代の膨大な肌の画像をAIに学習させることで次世代のスキンケア商品の開発に役立てることが出来ます。



● 金融・保険

日々の健康状態や車の運転状況などの顧客データをもとに分析を行い、一人ひとりにマッチした保険商品を開発・提案できます。



● 福祉

福祉現場において蓄積されたデータを活用することで、個々の対象者へより最適なケアプランの開発に応用することが出来ます。



● 食品

人々の食生活をデータベース化し、分析することで、より健康管理がしやすい食事メニューの開発や提案などに応用できます。



● 教育

学生の学習記録や成績などをデータ分析することで、個別の学習計画のサポートや学力アップにつながる教材の開発に役立てることが出来ます。



● スポーツ

試合中の選手の動きや身体データを分析することで、勝利に導く戦術分析やアシリートへのケア・サポートに役立てることが出来ます。



● IT・情報通信

企業において、データ分析やAI技術を活用し、製品やサービスの革新、業務効率化などDX推進に挑戦します。



● 官公庁

災害や事件、事故など、あらゆるデータを分析して対策を打つことで、安心して暮らせる社会の実現を目指します。

「健康データサイエンス学科」では、情報データサイエンスを学び医療・福祉・スポーツ分野でその実践力を身につけ、データ駆動社会において人々のQOL向上に貢献する人材を育成します。

情報通信技術、インターネット、データベース、AI技術、IoT、クラウドコンピューティング等の急速な進歩により、多量かつ多様なデータが収集・蓄積され活用できるようになりました。医療分野では例えばCTやMRI等の膨大な画像データをAIが解析し、異常部位を抽出することで医師の診断を支援し、診断精度と効率の向上に貢献しています。また福祉分野では室内に設置した温度・人感・圧力センサー等でデータを収集し、AIが行動パターンを学習して普段と異なる行動パターンを検知するとアラートを発出する見守り・異常検知システムが開発されています。さらにスポーツ分野では選手のパフォーマンス分析、トレーニング最適化、コンディショニング管理等でデータが活用され選手の技能向上やけが予防等に役立っています。

新潟医療福祉大学の強みである医療・福祉・スポーツ分野のデータ蓄積があり、また、他者と連携する力の醸成は教育の特徴となっています。データ分析の結果は必要とする人・組織・コミュニティ等において効果的なものでなければならず、他者との対話・連携は不可欠で本学は健康データサイエンスを学ぶ理想的な場であると言えます。

健康データサイエンスを学ぶ理想の場



大河 正志 先生

新潟大学自然科学系(工学部)教授/新潟大学大学院自然科学研究科副研究科長(2013~2018年度, 2023~2024年度)/新潟大学工学部副工学部長(評議員)(2025年度)/電子情報通信学会信越支部長(2023年度)/照明学会東北支部長(2023~2024年度)

開設 健康データサイエンス 学科

私は、データと医療を学ぶ

私は、データと福祉を学ぶ

私は、データとスポーツを学ぶ



多職種連携を“実践”で学ぶ

連携総合ゼミ

連携総合ゼミとは

本学が重視する「連携教育」を実践的に学ぶため、3年次後期と4年次前期に開講されるゼミです。複数学科の学生が混成チームを組み、実際の症例を題材にグループワークを行いながら支援策を検討します。これまで学内外で培った専門知識や技術を活かして協働することで、将来のチーム医療・チームケアに欠かせない職種間連携への理解や、現場で求められる実践的なチームワーク力を身につけます。



本学では同窓会と連携し、現場で活躍する卒業生が教育に関わる仕組みを整えています。連携総合ゼミでは、卒業生が学生の学びを支え、実践的な多職種連携教育をともにつくっています。

2025年前期 連携総合ゼミテーマ

※以下は一部抜粋です。

- 下肢切断を受けた糖尿病患者の生活支援
- 慢性硬膜下血腫：転院か？在宅復帰か？支援の方向性を考える
- 自閉症スペクトラム症の3歳児を持つ家族の支援

授業内でサポートする卒業生からのメッセージ

現場で働く先輩の体験談や 価値観を通して、倫理観や責任感が 磨かれるカリキュラム

Message



2010年卒 作業療法学科卒業
医療法人社団 真仁会 五泉中央病院
西山 達也 さん

私は在学中に連携総合ゼミを履修していませんでしたが、臨床を経験してこのカリキュラムの必要性を強く感じています。現在私は病院の回復期病棟に勤務しています。回復期病棟ではリハビリ職を始めとし、様々な医療職とのカンファレンスやミーティングを日々行っています。そういった場では大学を卒業した後の新人も経験者も関係ありません。私は作業療法士として、理学療法士・言語聴覚士と連携しながら、担当患者様をどう評価し、どう治療を進めていく事が望ましいか、その責任を背負って日々意見交換を行っています。このような現場を想定したカリキュラムが他にあるのでしょうか？連携総合ゼミは現場で働く先輩の体験談や価値観を通して、倫理観や責任感が磨かれるカリキュラムです。医療や介護現場で必要な「人間力」が育まれる素晴らしい取り組みだと思います。今後も新潟医療福祉大学の一つの価値として寄与できれば幸いです。

教員からのメッセージ



連携総合ゼミ実行部会 部会長 / 視機能科学科
村田 憲章 准教授

各職種が高い専門性を有する中で連携を実現するには、相互の職域理解と対象者への視点の共有が不可欠です。連携総合ゼミは、その基盤を卒業前に養う重要な機会です。ゼミ期間中に卒業生が来訪し、現場の専門職の視点を共有して下さることで、学生同士の討論が深まり、事例を多角的に捉える力の育成につながっており、大変助かっています。

学習の様子を
のぞいてみよう！

連携して
支援策を
考え中...

海外の
事例も検討...!

各職種からの意見を共有！



学生サポートステーション

講義棟(D棟)1F



学生窓口

学生窓口では、大学生活に関する質問・各種悩み相談・トラブル対応など、様々な受け付けています。また、学生が相談しやすいよう明るくて広い窓口となっています。「不安を安心に変える」ことで、安全で快適な学生生活を送りましょう！

こんな悩みがあれば
学生窓口へ！

- 大学生活に関する質問・悩み
- 授業、定期試験、成績に関する質問・相談
- 奨学金の手続き
- 学生保険の加入手続き
- パソコンの修理
- 落とし物
- 各種証明書の発行

教職支援センター



本学では、栄養教諭(健康栄養学科)、小学校教諭、中学校・高等学校保健体育教諭(健康スポーツ学科)、養護教諭(看護学科)の免許を取得することが可能です。教職支援センターは、黒板のある学校の教室を再現した「模擬授業スペース」です。実際に教壇に立って授業の練習を行うことができ、施設内に録画カメラを設置しているため、自分が教壇に立つ姿を後から確認し、予習・復習することができます！

キャリア支援センター



本学では、毎年100%近い就職率を達成しています。それは、この「就職センター」があるからといっても過言ではありません！就職センターでは、学生個々の希望を叶えるため、一人ひとりに対して就職用のカルテを作成します。学生の希望する地域・職種・条件などを確認し、個別指導を徹底しています。

就職支援内容

- 履歴書作成相談
- 面接試験対策
- 筆記試験対策
- 業種別学内説明会
- 各種セミナー など

学修支援センター

図書館棟(A棟)1F



学修支援センターでは、専門科目の履修に向けて必要となる理数系科目などの基礎科目の個別指導をはじめ、専門科目の補習セミナーや学習相談など、学習に対して様々な要望を持つ学生をサポートします。

学習支援内容

- 基礎科目の個別指導 専門科目の基礎となる「数学」「生物」「化学」「物理」「日本語表現」について、一人ひとりに合わせた個別指導を行います。
- 専門科目の補習セミナー 授業の進み具合に合わせて、学生がつまづきやすい基礎・専門科目の理解に必要な基礎知識の解説や復習を行います。
- 学習に関する悩み相談 「専門科目についてもっと詳しく知りたい」「部活と勉強を両立したい」など学習全般の相談を個別で受け付けています。
- 学生交流の場 学生同士や教職員との交流の場としてワークショップを開催しています。学習の合間のリフレッシュにもなります。

NUHWの 学生支援

本学では、充実した学生支援体制を整備し、入学から卒業まで学生一人ひとりの「学びやすく」をサポートしています。今回は、実際の学生支援施設をいくつか紹介！





浦井 杏奈 先生
新潟医療福祉大学
医療技術学部臨床技術学科 助教

【2020～2022年】
新潟大学歯学部総合病院 勤務
【2022年～現在】
新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科
助教

臨床技術学科



落合 勇人 先生
新潟医療福祉大学
リハビリテーション学部言語聴覚学科 助教

【2009～2015年】
旭神経内科リハビリテーション病院
【2015～2020年】
国際医療福祉大学言語聴覚学科 助手・助教
【2020～2024年】
新潟大学歯学部総合研究科摂食嚥下リハビリテーション
学分野 特任助教
【2024年～現在】
新潟医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚学科
助教 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員・認
定士 / 日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士 (摂食嚥下
領域・成人発声発語領域)

言語聴覚学科

飲み残してもまた飲めるの？

ペットボトルは



なぜペットボトル飲料は飲み残すと危ないと言われるのか？

ペットボトル飲料物は、一度開封したあとでも蓋をすることで再飲用が可能で、持ち運びにも便利であるという使用上の大きなメリットがあり、私たちの生活でも身近なものです。一方、再飲用が可能であるために、「ペットボトル飲料の飲み残し」についてのテレビや週刊誌での報道も多く見られます。飲み残した場合、口腔からの唾液の流入や汚染、健康への影響が懸念されるためです。私の行った研究で、ペットボトル飲料に直接口を付けて飲んだ場合、一定数の微生物が飲料内に流入していることが明らかになりました。



どんな微生物がどのくらい増えるのか？

流入する微生物は、私たちの口腔内に存在する微生物がほとんどです。私たちの口腔内には常に数多くの微生物が存在しており、共存しています。その微生物が飲料内に流入するのです。一度飲んだだけで微生物が流入しますが、それが増えるかどうかは、保存の温度や飲料の種類によって変わります。一晩放置するだけで流入した微生物が100倍にも増える飲料物もあれば、時間を置いても全く増えない飲料物もあります。また、微生物は37℃で増えやすいですが、冷蔵の場合は増えにくいという特徴があります。

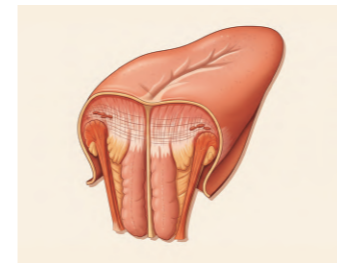


安全に飲むために日常生活でできる工夫は何か？

ペットボトル飲料に口を付けて飲むことで、一定数の微生物が私たちの口腔内からペットボトル内に流入することは確かです。一度に飲みきれない場合は、コップに移して飲むこと、そして保存する際は微生物が増殖しにくい低温（冷蔵庫）に置いておくことをおすすめします。日常生活だけでなく、災害時などの再飲用を余儀なくされるような資源の限られた環境下でも、飲料を大切にす工夫としてぜひ、実践してみてください。

■ みなさんへひとこと

「微生物」と聞くと、何やら健康に悪いような病気になるようなイメージが浮かびますね。しかし、微生物はすべてが悪影響を及ぼすのではなく、私たちの身体には常に多くの微生物が共存し、私たちは健康に生活しているのです。臨床技術学科では、微生物学だけでなく、様々な分野から、体のしくみ、病気のしくみについて深く理解します。一緒に学んでみませんか？



舌って、ただの小さな組織？

舌は筋肉の塊であり、口の中で一番パワフルな器官です。食べ物を上あごに押し付けて押しつぶして飲み込みやすいように加工し、のどへ送り込んだり、話すときに細かく動いて色々な音を作ったりと、実は大忙し。舌がしっかり働かないと、食事や会話が思うようにできなくなってしまいます。舌にはおいしい、冷たい、甘いといった感覚を感じるセンサーが豊富にあるため、私たちはおいしいごはんを食べたり、巧みに話したりすることが出来ます。小さく見えて、私たちの「食べる」「話す」という日々の生活に必要な活動を支える、とても大切な存在です。



舌の力は、健康にも関係するって本当？

舌の力が弱くなると、食べ物がうまく飲み込めなくなったり、むせやすくなったりします。特に高齢になると舌の筋肉も衰えてきて、これが栄養不足や体力低下につながり、結果として転倒、転落、感染症などで要介護状態に陥りやすくなるのが分かっています。また、舌の動きが悪くなると発音がはっきりしなくなり、人と話すのがおっくうになることがあります。口の機能の軽微な衰えであるオーラルフレイルは、社会的なつながりの希薄さを示す社会的フレイルと関係することが分かっています。舌の力を保つことは、食や人をつなぎ、元気においしく食べて、楽しく長生きするための秘訣であると言えます。



どうやって舌の力を知るの？鍛えるの？

舌の力は、専門的には「舌圧計」という機器で測ることができます。舌圧はお口の機能を示す重要な指標の一つであり、食べ物を安全にうまく飲み込む機能を支えているため、維持をしていくことが大切です。上あごに舌を強く押し付けて10秒キープしてみてください。すると、じんわりと疲労感を感じるはずです。また、口をしっかりと閉じて内側から舌で唇をなぞり、円を描くようにして右に左に舌を回すトレーニングも有効です。10回繰り返すと思っていた以上に疲れていることに気がつくはず。これらの舌トレーニングはフェイスラインにも影響を与え、顔周りの筋肉を引き締める効果もあり、美容効果も期待できます。空いた時間でぜひやってみてください。

■ みなさんへひとこと

舌は小さくても、私たちの生活を支える大きな力を持っています。食事や会話を生涯にわたって楽しむために、毎日の生活の中で舌を意識的に使うことが大切です。言語聴覚学科では、このような「食べる」「話す」「聞く」の機能を科学的に研究し、すべての人が豊かなコミュニケーションと食生活を送れるよう、専門家の育成に取り組んでいます。舌の健康を守って健やかな毎日を送っていきましょう！

あなたの知らない舌のチカラ



【女子硬式野球部】
小川舞選手、侍ジャパン女子代表に選出!



新潟医療福祉大学女子硬式野球部の小川舞選手が、2025年10月に中国・杭州で開催された第4回BFA女子野球アジアカップ侍ジャパン女子日本代表メンバーに選ばれた。女子硬式野球部は2023年度に創部されたばかりですが、学びとスポーツの両立を重視し、競技力向上のための専門的なトレーニングや健康管理、チームワークの強化に力を入れています。選手たちは授業や実習と両立しながら練習に励んでおり、アスリートとしても学生としても成長できる環境が整っています。

【男子サッカー部】
2選手のJリーグ入りが内定!



11月21日(金)、本学男子サッカー部の細井響選手(J1横浜FC内定)と吉田晃盛選手(J3ギラヴァンツ北九州内定)の記者会見を行いました。会見では、両選手が改めてJリーガーとしての意気込みを語り、これまで支えてくださった方々への感謝の言葉を述べました。また、両クラブの関係者の方々にもご出席いただき、獲得に至った経緯や選手への期待についてお話しいただきました。

【強化指定クラブ】
2025「スポーツフェスタ」開催!
573名の親子が学生アスリートと交流!



10月19日(日)、幼児や小学生、保護者を対象とした「新潟医療福祉大学スポーツフェスタ」を開催しました。本イベントは、スポーツ庁およびUNIVAS(大学スポーツ協会)の委託事業の一環として実施され、地域の子どもたちの運動不足やスポーツ離れ、市民がスポーツに親しむ機会の不足といった課題の解決を目的としています。当日は、本学の強化指定クラブに所属する学生を中心に各競技の体験ブースを設置し、サッカーや陸上、テニスなどさまざまなスポーツを子どもたちに体験してもらいました。また、パラスポーツ体験や身体測定ブースも用意され、保護者の方も含めた地域全体でスポーツに親しむ機会となりました。

【健康栄養学科】
4年生チームが学生ビジョンコンテストで特別賞を受賞



2025年11月8日、公益財団法人食の新潟国際賞財団池田弘理事長(主催)の「いがた食と農の未来学生ビジョンコンテスト」が開催され、健康栄養学科鈴木ゼミの4年生チーム「鉄っちょーず」(吉澤夏美さん、長ヶ部千夏さん、山本紗貴さん、野本息吹さん)が、公財「古泉財団特別賞」を受賞しました。チームは、新潟県庁感染症対策・業務課や新潟県赤十字血液センター、地球の子供食堂や宿題Cafeひがしくなど、多くの関係者と連携し、献血啓発に関する活動内容やアイデアをまとめ、発表しました。

【水泳部】
2名が日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)にて3位入賞! 男子50m自由形と女子100mバタフライで快挙!



9月4日~7日に東京都で開催された「日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)」において、新潟医療福祉大学水泳部の松原光佑選手と秋山葉名選手がそれぞれ3位入賞を果たしました。男子50m自由形に出場した松原選手は予選で22秒66、決勝では22秒51とタイムを縮めて3位入賞。女子100mバタフライに出場した秋山選手は予選で59秒48、決勝で59秒31と自己ベストを更新して3位入りました。

【ダンス部】
「東京なかの国際ダンスコンペティション2025」で第1位!
さらに特別賞3賞を受賞する快挙を達成!



新潟医療福祉大学ダンス部の古山夏帆さん(大学院2年)と大塚駿平さん(卒業生)が、8月25日(月)に東京都中野区で開催された「東京なかの国際ダンスコンペティション」に出場し、創作部門決勝に進出、創作部門第1位を受賞しました。さらに、現代舞踊協会賞、中野区長賞、なかの洋舞連盟賞もあわせて受賞する快挙を達成しました。

【鍼灸健康】
「福祉・介護・健康フェア2025」子ども職業体験に参加!
約60名にツボ押し&セルフケア紹介を実施



新潟医療福祉大学鍼灸健康学科は、2025年11月8日(土)、新潟市産業振興センターで開催された「福祉・介護・健康フェア2025」新潟会場に参加しました。学科は、子ども職業体験コーナーの「介護」ブースで、教員2名と学生3名が中心となり、東洋医学に基づくセルフケアやツボ刺激体験を通して健康づくりや介護での活用を紹介しました。

【社会福祉医療情報管理】
第24回全国障害者スポーツ大会にサポート学生として参加!



新潟医療福祉大学社会福祉学科医療情報管理学科の学生8名が、10月25日(土)~26日(日)に滋賀県で開催された「第24回全国障害者スポーツ大会」わたSHIGA輝く障スポ」に参加しました。今回の大会には全国から多くの選手が集まり、さまざまな競技が行われる大規模なイベントとなりました。学生たちは、その大会で新潟市・新潟県選手団のサポート学生として活動しました。



新潟医療福祉大学のリアルや最新情報を発信中!

#NUHW SNS

#TikTok

流行りの動画や
ユーモアのあるPOPな内容を発信中



#Instagram

入学式などの行事やリアルな学生の様子を発信中!



#X (旧Twitter)

リアルタイムで
新潟医療福祉大学に
まつわるNEWSをポスト!



#YouTube

大学の魅力や
学内の雰囲気を感じ
できる動画を発信中



#Facebook

新潟医療福祉大学での出来事や
ニュースをご紹介します

